SD(SDカード)

HS709D-A
HS709D-W
HS309-A
HS309-W

☆印:HS709D-A/HS709D-W

SDカードについて（1）

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

本機ではSDカードを利用して、SDモードで以下のような操作をすることができます。

- パソコンなどでダウンロードした映像やビデオカメラで撮影した映像の再生☆
  「映像ファイルモードを使う」190～193ページ
- ワンセグの録画と録画データの再生と編集☆
  「TVを使う〔12セグ／ワンセグ〕」382、383ページ
  「ビデオストッカーモードを使う」194～197ページ
- FM放送の音楽の録音／再生、録音したデータの編集☆
  「FM録音の設定をする」52～55ページ
  「FM自動録音時の周波数を設定する」56、57ページ
  「エフエムストッカーモードを使う」198～221ページ
  「FM放送を手動録音する」171～173ページ
- パソコンなどからSDカードにMP3／WMA／AAC☆形式で記録された音楽データの再生
  「音楽ファイルモードを使う」222～229ページ

☆印：HS709D-A／HS709D-W

■SDロゴは商標です。

■SDHCロゴは商標です。

■SDカードについて

- SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。
  （本機で録音、録画したエフエムストッカー／ビデオストッカーのファイルを除く。）
- 16GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- SDカードの初期化は本機で行なってください。
  別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）「データを初期化（消去）する」306、307ページ
- SDモードで音楽・動画再生中にSDカードを抜かないでください。
  ※SDモードを終了（OFF状態に）させてから抜いてください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用してください。
- miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDアダプターでご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
  ・使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- 本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。

■操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機　能		SDカード（2GB以下）	SDHCカード（4GB以上）	miniSDカード（アダプター必要）	microSDカード（アダプター必要）
静止画像の閲覧と本機への保存 ナビ編 258～263ページ		○	○	○	○
音楽データの再生	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC☆	○	○	○	○
FM放送の録音／再生☆		○ ＊	○	○ ＊	○ ＊
映像データの再生☆	MP4	○	○	○	○
ワンセグの録画／再生☆		○ ＊	○	○ ＊	○ ＊
Gracenoteデータベースアップデート 58～64、68～70、79、80ページ		○	○	○	○

＊：256MB以上のSDカードの使用を推奨します。容量が少ないSDカードは録音／録画☆ができない場合があります。
☆印：HS709D-A／HS709D-W

映像ファイル☆

■MPEG4とは動画、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。DVDや地上デジタルテレビなどで使用されるMPEG2に比べ、高い圧縮率で映像ファイルを作成することができます。

■映像ファイル（MPEG4）の再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- 極端に再生時間の長いファイル、極端に再生時間の短いファイルは正常に再生できないことがあります。
- 再生可能なファイルサイズの上限は1GBです。
- 同一ファイル内に音声／映像以外の情報（画像など）が同時に収録されているMP4ファイルの再生はできません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データを含む映像ファイルは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1フォルダ内の最大ファイル数99（ファイル＋フォルダ）／最大フォルダ数：99となります。
- フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※正しく表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- 著作権保護された映像ファイル（MP4）は再生できません。

本製品に搭載のソフトウェアは下記使用目的に限りライセンスされております。

☆印：HS709D-A／HS709D-W

SDカードについて(2)

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

■ファイル名について

- 映像ファイル(MP4)と認識し再生するファイルは拡張子"MP4"が付いたものだけです。
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、映像・音声が正常に出ない可能性があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

再生可能なMP4ファイルについて

ビデオコーデック	ビットレート(bps)	フレームレート(fps)	解像度
MPEG 4	216k～1.5Mbps	15、30	320×240
H.264	×	×	×

※MPEG4(ビデオコーデック)の対応プロファイルはSimple Profile レベル3までです。
※ビットレートが低いと十分な画質を得られない場合があります。

オーディオコーデック	ビットレート(bps)	サンプリングレート(kHz)
AAC-LC	64～128kbps	24、48
AAC-plus	×	×

※ビットレートが低いと十分な音質を得られない場合があります。

上記仕様から外れたMP4ファイルを再生すると、音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
MP4ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの取扱説明書を参照ください。

※著作権について
テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。
本機で作成したデータのご利用に対する責任は一切負いかねますのでご注意ください。

音楽ファイル

■MP3／WMA／AAC☆は音声圧縮フォーマットです。

■AAC☆とはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3／WMAの説明につきましては98、99ページを参照ください。

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましては☞102、103ページを参照ください。AAC☆につきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート8～320kbpsとなります。
※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

■MP3／WMA／AAC☆の再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行われない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応しておりません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報（画像など）が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC（m4a）ファイルに画像データ（iTuneのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1フォルダ内の最大ファイル数255（ファイル＋フォルダ）／最大フォルダ数：100となります。
- 選曲モード（☞204ページ）のフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※正しく表示させるにはファイルの先頭に"01～99"など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- 著作権保護されたWMA／AACは再生できません。

■ファイル名について

- MP3／WMA／AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子"mp3"／WMAの拡張子"wma"／AACの拡張子"m4a"が付いたものだけです。
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角31文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

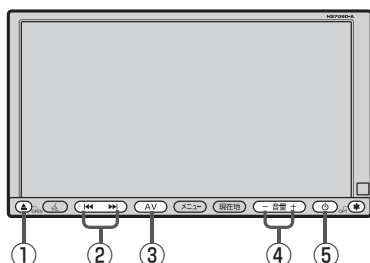
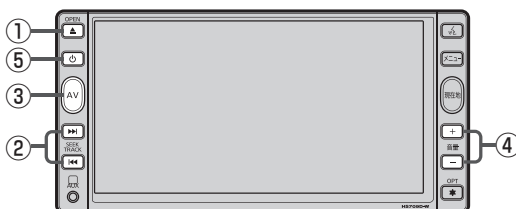
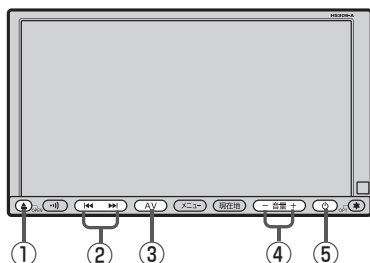
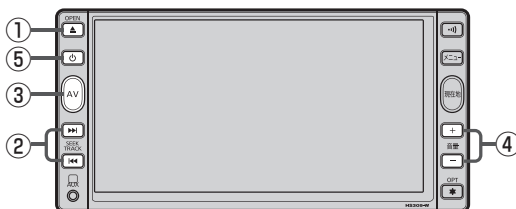
※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名です。
※WMA／AAC☆タグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

☆印：HS709D-A／HS709D-W

SDカードを使う(1)

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

各部の名称とはたらき

HS709D-A

HS709D-W

HS309-A

HS309-W

① [▲]ボタン(OPEN)

パネルをオープンさせて、SDカードを入れる/取り出すときに使用します。

② [⏮/⏭]ボタン/[⏮][⏭]ボタン(スキップ・トラック)

好きなファイル・曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏪)/早送り(⏩)します。

③ [AV]ボタン◎

● AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション画面/CD/DVD/MP3/WMA/Radio/USB/AUX/VTR/MUSIC STOCKER/TV/Bluetooth Audio/Photo/iPodモードからSDモードに切り替えるときに使用します。

④ [－音量＋]ボタン/[＋][－]ボタン(音量)

音量の増減を調整します。

－:音量を下げます。　＋:音量を上げます。

⑤ [⏻]ボタン(AV電源)

● AV電源をON/OFFします。

● 2秒以上の長押しで画面を消します。(23ページ)

アドバイス

◎印:AV SOURCE画面のモードは型式によって異なります。☞18、20ページ参照

■ 映像ファイルモードの場合☆

☆印：HS709D-A／HS709D-W

① 切替 ボタン

画面に操作ボタンが表示されているときにタッチすると映像を全画面表示します。

② ▶II ボタン（再生／一時停止）

再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。（190ページ）

③ リスト ボタン

SDカードに記録されているファイルのリストを表示します。（190ページ）

④ モード切替 ボタン

SDカードの再生モード（映像ファイル／ビデオストッカー／エフエムストッカー／音楽ファイル）を切り替えます。（188、189ページ）

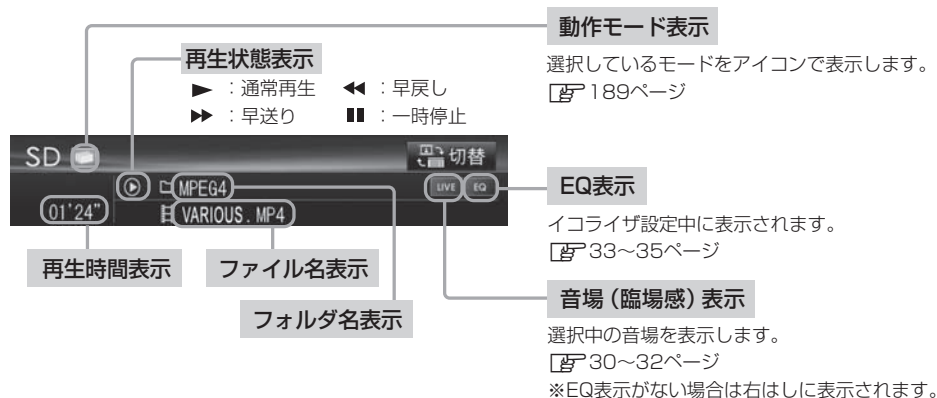
⑤ Quick ボタン

Quick MENUを使用することができます。（490ページ）

表示部について

動作モード表示
選択しているモードをアイコンで表示します。
189ページ

EQ表示
イコライザ設定中に表示されます。
33〜35ページ

音場（臨場感）表示
選択中の音場を表示します。
30〜32ページ
※EQ表示がない場合は右はしに表示されます。

■ ビデオストッカーモードの場合☆

☆印：HS709D-A／HS709D-W

① **切替 ボタン**
画面に操作ボタンが表示されているときにタッチすると映像を全画面表示します。

② **▶II ボタン(再生／一時停止)**
再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。(194ページ)

③ **リスト ボタン**
SDカードに記録されている映像／番組のリストを表示します。(194ページ)

④ **モード切替 ボタン**
SDカードの再生モード（映像ファイル／ビデオストッカー／エフエムストッカー／音楽ファイル）を切り替えます。(188、189ページ)

⑤ **Quick ボタン**
Quick MENUを使用することができます。(490ページ)

⑥ **音声 ボタン**
タッチするごとに、データに収録されている音声リストの中で、音声が切り替わります。(197ページ)
※音声が複数収録されていない場合は切り替わりません。

⑦ **字幕 ボタン**
タッチするごとに、データに収録されている字幕リストの中で、字幕が切り替わります。(197ページ)
※字幕が収録されていない場合は切り替わりません。

表示部について

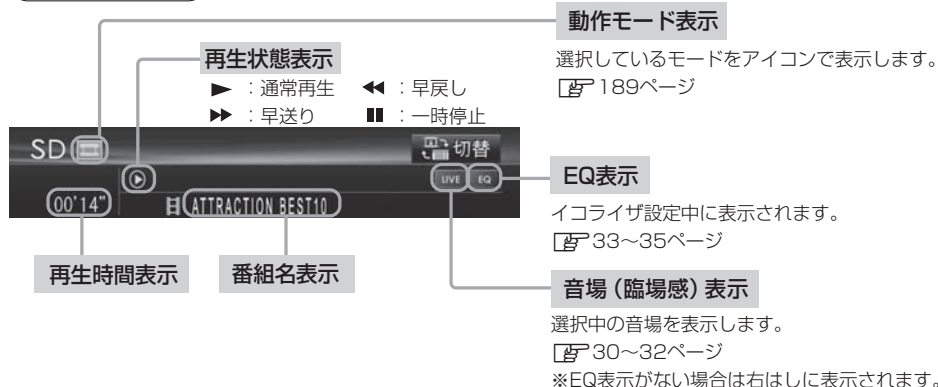
再生状態表示
▶ ：通常再生　◀◀ ：早戻し
▶▶ ：早送り　II ：一時停止

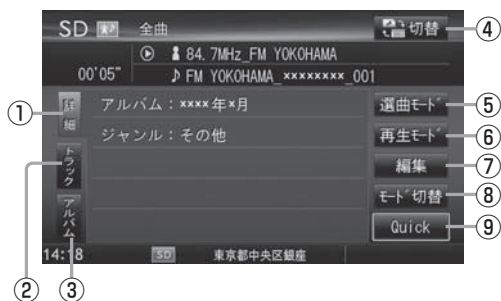
動作モード表示
選択しているモードをアイコンで表示します。
189ページ

EQ表示
イコライザ設定中に表示されます。
33～35ページ

音場（臨場感）表示
選択中の音場を表示します。
30～32ページ
※EQ表示がない場合は右はしに表示されます。

再生時間表示

番組名表示

■ エフエムストッカーモードの場合☆

☆印：HS709D-A／HS709D-W

① **詳細** ボタン
トラックの詳細情報を表示します。

② **トラック** ボタン
放送局／録音日／管理番号をリスト表示し、選択が可能です。（202、203ページ）

③ **アルバム** ボタン
アルバムリストを表示し、アルバムの選択が可能です。（202、203ページ）

④ **切替** ボタン
壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。（491ページ）

⑤ **選曲モード** ボタン
5種類の選曲モード（全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／お気に入り）から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。（204～207ページ）

⑥ **再生モード** ボタン
リピート／ランダム／スキャン／ダイジェストの選択をすることができます。（208～211ページ）

⑦ **編集** ボタン
アルバムやトラックの編集、ジャンルの変更、お気に入り管理などをすることができます。（212～221ページ）

⑧ **モード切替** ボタン
SDカードの再生モード（映像ファイル／ビデオストッカー／エフエムストッカー／音楽ファイル）を切り替えます。（188～189ページ）

⑨ **Quick** ボタン
Quick MENUを使用することができます。（490ページ）

表示部について

リピート／ランダム／スキャン／ダイジェスト選択時に表示
表示内容につきましては208～211ページを参照ください。

動作モード表示
選択しているモードをアイコンで表示します。☞189ページ

再生状態表示
► ：通常再生
►► ：早送り
◄◄ ：早戻し

<周波数>_<放送局>表示☆
（アーティスト名）

EQ表示
イコライザ設定中に表示されます。☞33～35ページ

音場（臨場感）表示
選択中の音場を表示します。☞30～32ページ
※EQ表示がない場合は右はしに表示されます。

<放送局>_<録音日>_<管理番号>☆
（トラック名）

<西暦>年<月>月表示＊
（アルバム名表示）

再生時間表示

ジャンル名表示＊ ジャンル名が表示されます。

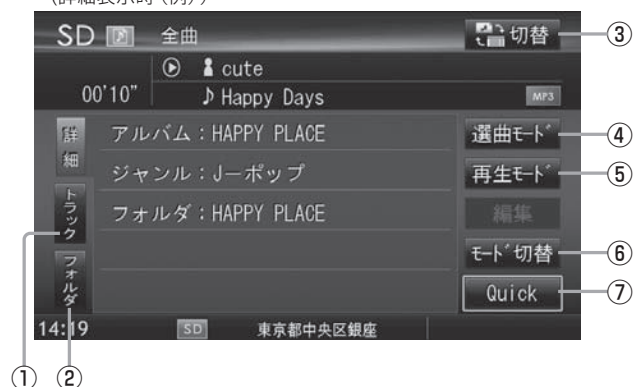
アドバイス

- トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示文字数は全角32（半角64）文字です。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名は、編集することができます。☞212～214、216、217ページ
- ジャンル名はカスタマイズするまでその他と表示されます。☞215、217ページ
- ＊印：編集メニューより表示内容を変更することができます。☞212～217ページ

SDカードを使う(3)

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

■ 音楽ファイルモードの場合

SDモード（音楽ファイル） TOP画面
(詳細表示時（例））

① **トラック ボタン**

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。(224、225ページ)

② **フォルダ ボタン**

フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。(224、225ページ)

③ **切替 ボタン☆**

壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。(491ページ)

④ **選曲モード ボタン**

選曲モード(全曲／フォルダ)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。(226、227ページ)

⑤ **再生モード ボタン**

リピート／ランダム／スキャンの選択をすることができます。(228、229ページ)

⑥ **モード切替 ボタン☆**

SDカードの再生モード(映像ファイル／ビデオストッカー／エフエムストッカー／音楽ファイル)を切り替えます。(188、189ページ)

⑦ **Quick ボタン**

Quick MENUを使用することができます。(490ページ)

☆印：HS709D-A／HS709D-W

表示部について

リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

表示内容につきましては228、229ページを参照ください。

動作モード表示

選択しているモードをアイコンで表示します。

「動作モードを切り替える」189ページ

選択中の選曲モードの内容を表示します。

選曲モード 226ページ

（詳細表示時（例））

SD 全曲 切替
REPEAT TRACK cute LIVE EQ
00'10" ♪ Happy Days MP3
詳細 アルバム：HAPPY PLACE 選曲モード
ジャンル：J－ポップ 再生モード
トラック フォルダ：HAPPY PLACE 編集
フォルダ モード切替
Quick
14:19 SD 東京都中央区銀座

再生状態表示／アーティスト名表示

► ：通常再生
►► ：早送り
◄◄ ：早戻し

EQ表示☆

イコライザ設定中に表示されます。

33～35ページ

再生ファイル表示

選択中のファイルを表示します。

MP3 ／ WMA ／☆ AAC

音場（臨場感）表示

選択中の音場を表示します。

30～32ページ

※EQ表示がない場合は右はしに表示されます。

アルバム名表示

ジャンル名表示

フォルダ名表示

トラック名表示＊1

再生時間表示

☆印：HS709D-A／HS709D-W

- トラック名／フォルダ名／アーティスト名／アルバム名の表示文字数は全角32（半角64）文字です。
- アルバム名／アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
  ※＊1印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名（フォルダ名／アーティスト名／アルバム名）をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

SDカードを使う(4)

再生を始める

⚠ 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)★

☆印：HS709D-A／HS709D-W

☆走行中(映像を表示するモードの場合)(例)

■ SDカード未挿入の場合

1 パネルの［▲］ボタン(OPEN)を押す。

：ディスプレイが開きます。

アドバイス

- SDカード挿入口やパネルにつきまして詳しくは別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)41、44、45ページを参照ください。

2 SDカードディスク挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じ、SDカードの再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ SDモード画面でAV電源OFFにしていた場合

①パネルの［⏻］ボタン(AV電源)を押す。

：前回のつづきからSDカードの再生を始めます。

□ ナビゲーション画面またはSDモード以外のモード画面の場合(OFF含む)

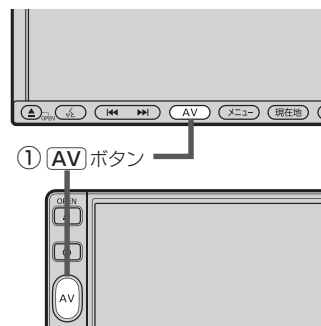
①パネルの［AV］ボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

②画面の［SD］ボタンをタッチする。

：SDカードの再生を始めます。

AV SOURCE画面

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」24ページ／「映像の調整のしかた」25～27ページ／「オーディオの調整をする」30～41ページ

アドバイス

SDカードの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」22ページ

SDモードを終了する

パネルの ⏻ ボタン(AV電源)を押す。

：画面に“OFF”と表示されSDカードの再生を止めます。

SDカードを取り出す

パネルの ▲ ボタン(OPEN)を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

2 SDカードを1回押して取り出す。

アドバイス

- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
  ※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)して取り出してください。

SDカードを使う(5)

HS709D-A
HS709D-W

動作モードを切り替える☆

SDカードの再生モード(映像ファイル／ビデオストッカー／エフエムストッカー／音楽ファイル)を切り替えます。

1 動作モードを切り替えます。

■ 映像データを再生中の場合

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
モード切替 ボタンをタッチする。

■ 音楽データを再生中の場合

画面の モード切替 ボタンをタッチする。

☆印：HS709D-A／HS709D-W

2 再生したいモード(映像ファイル ／ ビデオストッカー ／ エフエムストッカー ／ 音楽ファイル ボタン)を選択します。

モード切替画面

■ 映像ファイル ボタンをタッチした場合( )

パソコンなどからSDカードへ転送した映像を見ることができます。

※映像の一時停止、選択、早送り／早戻しなどの操作が可能です。
190〜193ページ

■ ビデオストッカー ボタンをタッチした場合( )

ワンセグ録画した映像を見ることができます。

※映像の一時停止、選択、早送り／早戻し、音声／字幕の切り替え、録画番組の削除などの操作が可能です。
194〜197ページ

■ エフエムストッカー ボタンをタッチした場合( )

FM録音した放送を聞くことができます。

※録音した放送は選曲モードに分けて管理したり、ジャンル設定、リピート／ランダム／スキャン／ダイジェスト再生、早送り／早戻しなどの操作が可能です。
198〜221ページ

■ 音楽ファイル ボタンをタッチした場合( )

パソコンなどからSDカードへ転送した音楽を聞くことができます。

※リピート／ランダム／スキャン再生、早送り／早戻しなどの操作が可能です。
222〜229ページ

：選択したモードで再生を始めます。

再生を一時停止(静止)する

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、▶II ボタン(再生/一時停止)をタッチする。

：映像を一時停止(静止)します。
(音声も止まります。)

▶II ボタン(再生/一時停止)

2 再び再生を始めるには…
画面の ▶II ボタン(再生/一時停止)をタッチする。*

：再生を止めた続きから再生します。

＊：操作ボタンが消えている場合は画面をタッチして表示させてください。

3 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
表示が消えるまで待つか画面の 切替 ボタンをタッチする。

映像ファイルリストより選択し再生させる

映像ファイルモード(例)

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、リスト ボタンをタッチする。

：ファイルリストが表示されます。

※リスト表示中映像は表示されません。
(静止状態となります。)

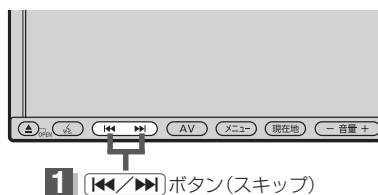
2 リストより再生したいファイルをタッチする。

：選択したファイルが再生されます。

アドバイス

パネルの |◀◀/▶▶| / |◀◀| |▶▶| ボタン(スキップ)を押してファイルを選択することもできます。

☞「操作パネル上のボタンにてファイルを戻す/進める」191ページ

操作パネル上のボタンにてファイルを戻す／進める

1 パネルの[⏮／⏭]／[⏮][⏭]ボタン(スキップ)を押す。

：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。

■ 前のファイルに戻る場合

⏮ボタンを2回押す。
※1回押した場合は再生中の
ファイルの頭に戻ります。

■ 次のファイルに進む場合

⏭ボタンを押す。

アドバイス

画面をタッチしてリストより選択することもできます。
☞「映像ファイルリストより選択して再生させる」
190ページ

早戻し／早送りをする

1 パネルの[⏮／⏭]／[⏮][⏭]ボタン(スキップ)を押し続ける。

：再生中のファイルの早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

⏮ボタンを押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ボタンを押し続ける。

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。
ボタンを押し続け、ファイルの始めまたは終わりにくると通常再生になります。

フォルダを選択して再生させる

1 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、 リスト ボタンをタッチする。

：ファイルリストが表示されます。

2 画面の サーチ ボタンをタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

3 再生したいフォルダをタッチする。

：動画ファイルリストが表示されます。

4 リストより再生したい動画ファイルを
タッチする。

：選択した動画が再生されます。

選択中フォルダのファイルを、ファイルリストまたはパネルより1つずつ選択することもできます。

☞「映像ファイルリストより選択し再生させる」190ページ
「操作パネル上のボタンにてファイルを戻す／進める」191ページ

ビデオストッカーモードを使う(1)

再生を一時停止(静止)する

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
▶II ボタン(再生/一時停止)をタッチする。

：映像を一時停止(静止)します。
(音声も止まります。)

▶II ボタン(再生/一時停止)

2 再び再生を始めるには…
画面の ▶II ボタン(再生/一時停止)を タッチする。*

：再生を止めた続きから再生します。

＊：操作ボタンが消えている場合は画面をタッチして表示させてください。

3 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
表示が消えるまで待つか画面の 切替 ボタンをタッチする。

ワンセグ録画リストより選択し再生させる

ビデオストッカーモード(例)

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
リスト ボタンをタッチする。

：録画リストが表示されます。

2 リストより再生したいファイル(録画番組)を
タッチする。

：選択したファイル(番組)が再生されます。

※リスト表示中映像は表示されません。
(静止状態となります。)

アドバイス

パネルの |◀◀/▶▶| / |◀◀| |▶▶| ボタン(スキップ)を押してファイル(録画番組)を選択することもできます。

☞「操作パネル上のボタンにてファイル(録画番組)を戻す/進める」195ページ

操作パネル上のボタンにてファイル(録画番組)を戻す／進める

1 パネルの[⏮／⏭]／[⏮][⏭]ボタン(スキップ)を押す。

：前のファイル(番組)に戻る、または次のファイル(番組)に進みます。

■ 前のファイル(番組)に戻る場合

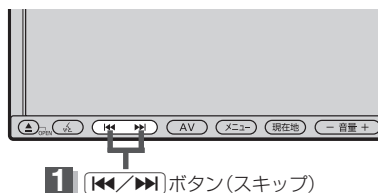
⏮ボタンを2回押す。
※1回押した場合は再生中の
　ファイル(番組)の頭に戻ります。

■ 次のファイル(番組)に進む場合

⏭ボタンを押す。

> **アドバイス**
> 画面をタッチしてリストより選択することもできます。
> ☞「ワンセグ録画リストより選択し再生させる」
> 194ページ

早戻し／早送りをする

1 パネルの[⏮／⏭]／[⏮][⏭]ボタン(スキップ)を押し続ける。

：再生中のファイル(番組)の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

⏮ボタンを押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ボタンを押し続ける。

> **アドバイス**
> それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。ボタンを押し続け、ファイルの始めまたは終わりにくると通常再生になります。

ビデオストッカーモードを使う(2)

ワンセグ録画した番組を削除する

ビデオストッカーモード(例)

1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**リスト**ボタンをタッチする。

：録画リストが表示されます。

2 画面の**編集**ボタンをタッチする。

：編集画面が表示されます。

3 リストより削除したいファイル(番組)を選択し、タッチする。

編集画面(例)

ファイル(番組)を一括で選択することができます。
(すべての動画にチェックマーク(✔)が付きます。)

選択したファイル(番組)を一括で止める(取消す)ことができます。
(すべてのファイル(番組)のチェックマーク(✔)を消します。)

□表示：このファイル(番組)は削除されません。
✔表示：このファイル(番組)は削除されます。

4 画面の**削除**ボタンをタッチする。

：選択したファイル(番組)を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい**ボタンをタッチするとファイル(番組)を削除します。

⚠注意 **削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のキースイッチの変更)をしないでください。**
他の操作をすると故障の原因となります。

音声／字幕を切り替える

収録データによっては複数の音声／字幕が収録されているものもあります。この場合は音声／字幕を選ぶことができます。

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
音声 または 字幕 ボタンをタッチする。

：タッチするごとに、データに収録されている音声リストまたは字幕リストの中で、音声／字幕が切り替わります。

音声リスト

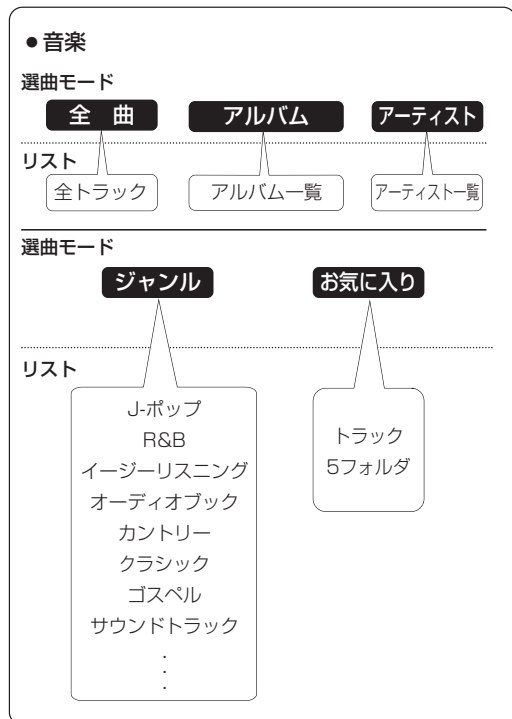
字幕リスト

画面の操作ボタンの表示をやめるには…
表示が消えるまで待つか画面の 切替 ボタンをタッチする。

アドバイス

収録データによっては、音声／字幕を切り替えることができないものもあります。

エフエムストッカーモードを使う(1)

エフエムストッカーイメージ図

★SDカード*に録音したFM放送を、付属のBeatJamを使用してタイトル情報を取得すると自動で3種類(アルバム/アーティスト/ジャンル)の選曲モードに分類され、さらに細かく分かれて管理されます。
選曲モードの各ボタンの中から絞り込んで検索することができるので便利です。

※全曲は全てのトラックを表示します。お気に入りはお好みの曲だけを集めたオリジナルリストを表示します。

※＊印:録音につきましては☞52〜57，171〜173ページを必ずお読みください。

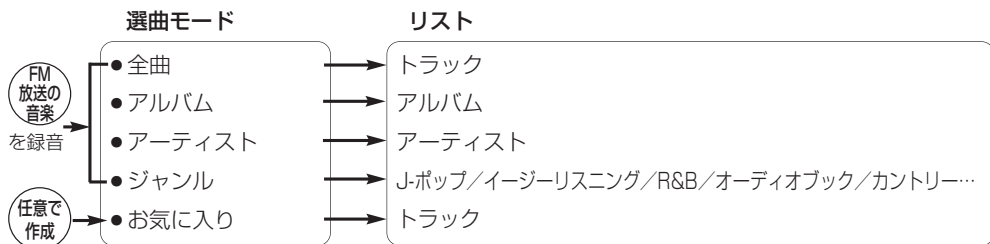
※選曲モードでジャンル/お気に入りを選択し、再生させているときにアルバムや曲の削除/再生選択を行なうと、詳細画面にしたとき選曲モードは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲モードの再生リストを継続しません。)
☞「BeatJamを利用する」68、69ページ

※エフエムストッカーに登録できる最大数は400アルバム、400アーティスト、200ジャンルです。最大登録数を超えると、登録/編集/録音ができなくなる場合があります。

※エフエムストッカーに登録できる最大曲数は、同一のアルバム/アーティスト/ジャンルで、それぞれ4000曲です。

■ BeatJamを使用すると… 「BeatJamを利用する」68〜78ページ

本機で録音されたFM放送の音楽は付属のBeatJamを使ってタイトル取得することにより、アルバム／アーティスト／ジャンルの選曲モードの各ボタンにふり分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたトラックリストを作成することができます。各選曲モードの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。

※収録された音楽がGracenoteデータベース検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。

※ジャンルはBeatJam上でタイトル取得するかカスタマイズ（215ページ）するまで詳細再生画面で“その他”と表示されます。

SD〔エフエムストッカー〕

エフエムストッカーモードを使う(2)

HS709D-A
HS709D-W

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 パネルの[⏮／⏭]／[⏮][⏭]ボタン(トラック)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

■ 前のトラックに戻る場合

⏮ボタンを2回押す。
※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭ボタンを押す。

アドバイス

画面をタッチしてリストより選択することもできます。
☞「リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選び再生させる」202、203ページ

早戻し／早送りをする

1 パネルの［⏮／⏭］／［⏮］［⏭］ボタン(トラック)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ **早戻しで戻る場合**

⏮ボタンを押し続ける。

■ **早送りで進む場合**

⏭ボタンを押し続ける。

再生状態表示
▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。ボタンを押し続け、リストの始めまたは終わりにくると通常再生になります。

エフエムストッカーモードを使う(3)

リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選び再生させる

選曲モード(☞204ページ)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／お気に入り)のトラックまたはアルバムをリストより選択再生させることができます。

1 画面の トラック ボタンまたは アルバム ボタンをタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

詳細表示時(例)

■ トラック ボタンをタッチした場合

：トラックリスト(放送局／録音日／管理番号)*が表示されます。

アドバイス

- 選曲モード(☞204ページ)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／お気に入り)のトラックリスト表示となります。
- ＊印：表示内容は変更することができます。☞216、217ページ

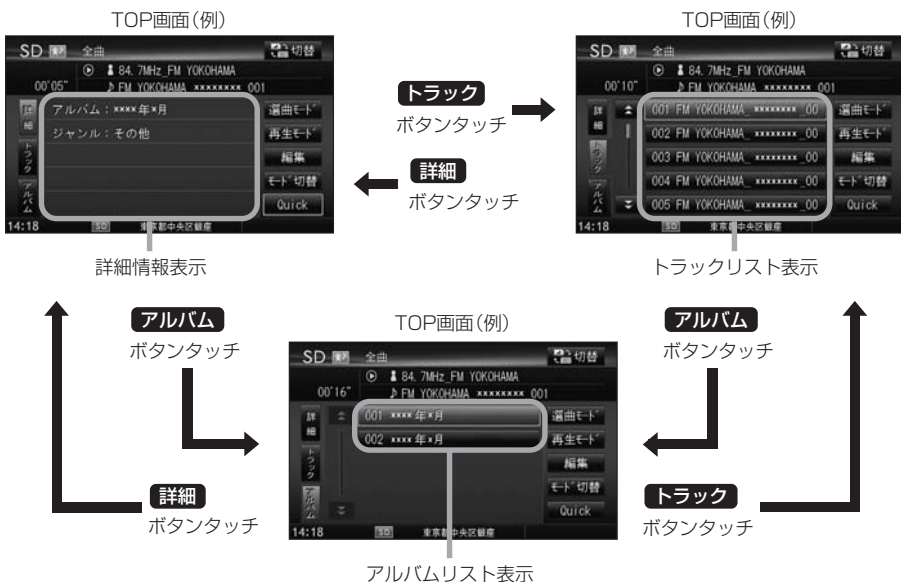
■ アルバム ボタンをタッチした場合

：アルバムリスト(西暦／月)*が表示されます。

アドバイス

- 選曲モード(☞204ページ)で選択したボタン(全曲／アーティスト)のアルバムリスト表示となります。
  ※選曲モードでアルバムを選択した場合は全てのアルバム表示となります。
- ＊印：表示内容は変更することができます。☞212～214ページ

アドバイス

SDのエフエムストッカーモードのTOP画面は選択するボタン（**詳細**／**トラック**／**アルバム**）によって詳細表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。

- 選曲モード（☞204ページ）で**アーティスト**を選択すると、選んだアーティストのトラックリスト／アルバムリスト表示となります。
- 選曲モード（☞204ページ）で**アーティスト**／**ジャンル**／**お気に入り**を選択した場合は、**アルバム**ボタンは選択できません。

2 再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面（トラックリスト表示時（例））

▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は**詳細**ボタンをタッチしてください。（上記アドバイス参照）
- パネルの［⏮／⏭］／［⏮］［⏭］ボタン（トラック）を押してトラックを選択することもできます。
  ☞「操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する（トラックを戻す／進める）」200ページ

エフエムストッカーモードを使う(4)

選曲モードより選択し再生させる

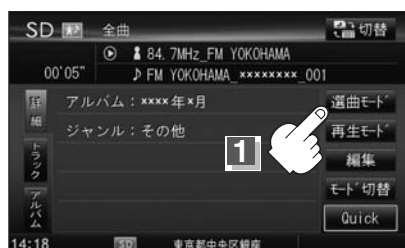
本機を使用してSDカードに録音したFM放送の音楽を、付属のBeatJamを使用してGracenoteデータベースのタイトル情報が取得されている場合に、該当する選曲モードの各ボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル)にふり分けることができます。
聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。
また、選曲モードにはお好みの曲だけを集めることのできる“お気に入り”ボタンもあります。

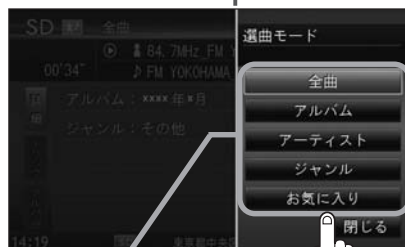
※“お気に入り”ボタンを使用するにはあらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。
「トラックリストの編集(曲管理)」216～219ページ

※Gracenote音楽認識サービスから曲情報を取得していないデータは、タイトルに録音日時や放送局名が記録されています。「表示部について」183ページ

1 画面の 選曲モード ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

SDモード(エフエムストッカー) TOP画面(例)

2 選曲する方法(全曲 ／ アルバム ／ アーティスト ／ ジャンル ／ お気に入り ボタン)を選択します。

選曲モード画面

アドバイス

- SDカードに収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲モードを選択する前に 閉じる ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲 ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト

：選択した曲を再生します。

次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

■ アルバム ボタンをタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

アルバムリスト

：選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト

：選択した曲を再生します。

次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

エフエムストッカーモードを使う(5)

■ アーティスト ボタンをタッチした場合

：アーティストリストが表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのトラックリストが表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

アドバイス

次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

■ ジャンル ボタンをタッチした場合

：ジャンルリストが表示されます。

①再生させたいジャンルをタッチする。

ジャンルリスト

：選択したジャンルのトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト

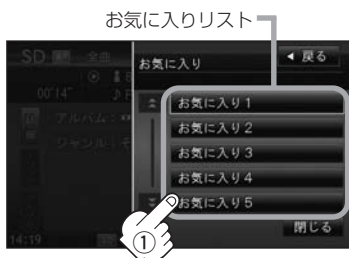
：選択した曲を再生します。

アドバイス

次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

■ お気に入り ボタンをタッチした場合

：お気に入りリストが表示されます。

①再生させたいお気に入りフォルダをタッチする。

：選択したお気に入りフォルダのトラックリストが表示されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

アドバイス

- TOP画面で 編集 ボタンをタッチしてお気に入り登録をしていないと、上記②の操作はできません。
- 1つのお気に入りトラックフォルダに200曲の登録が可能です。

「トラックリストの編集(曲管理)」216〜219ページ

- 次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

3 設定を終わるには…

画面の 戻る ボタンまたは 閉じる ボタンをタッチする。

： 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 閉じる ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

アドバイス

お気に入りリスト(上記)で再生させたいお気に入り登録曲を選択したとき該当するトラックがない(お気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。さらに表示部は“−−−”となります。

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン/ダイジェスト再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン/ダイジェスト)を選択することができます。

ダイジェスト再生について

本機でSDカードに録音したFM音楽について、本機がその曲について象徴的と判別し、抽出した部分を約20秒間ずつ再生します。

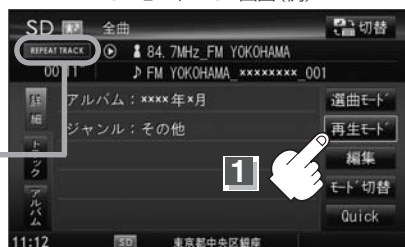
※ユーザーの主観とは異なる部分が再生されることがあります。

画面の 再生モード ボタンをタッチする。

:画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

SDモード TOP画面(例)

手順 2 で選択した再生モードがマーク表示されます。

2

再生したいモード(リピート / ランダム / スキャン / ダイジェスト ボタン)を選択する。

再生モード選択画面

■ リピート ボタンをタッチした場合

① リピート ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

● リピート ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ ランダム ボタンをタッチした場合

① ランダム ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、リスト内の曲を順序不同再生します。

● ランダム ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からランダム再生

マーク表示有)

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)タッチした場合

① スキャン ボタンをタッチする。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

● スキャン ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

■ ダイジェスト(聞きどころ)再生

① ダイジェスト ボタンをタッチする。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

：表示灯点灯し、曲のダイジェスト部分を約20秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

● ダイジェスト ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

ダイジェスト再生をしてもユーザーの主観とは異なる部分が再生されることがあります。

3 設定を終わるには…

画面の 閉じる ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。

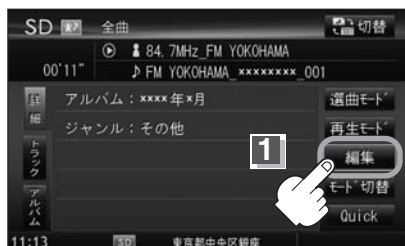
アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

アルバムリストの編集(曲管理)

アルバム名の変更や削除、ジャンルの変更などをすることができます。

1 画面の 編集 ボタンをタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。

2 編集メニューより 曲管理 ボタンをタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

※SD再生中は編集メニューのボタンを選択できません。 はい ボタンをタッチして再生を停止してください。

編集メニュー画面

お気に入り管理 ボタン
お気に入りフォルダ名の変更や削除などをすることができます。
☞220、221ページ

現在のアルバム ボタン
アルバム編集画面を表示します。
☞213ページ

現在の曲 ボタン
トラック編集画面を表示します。
☞216ページ

3 編集したいアルバムを選択し、操作したいボタン(アルバム編集 ／ 削除)をタッチします。

曲管理画面

アルバムリスト

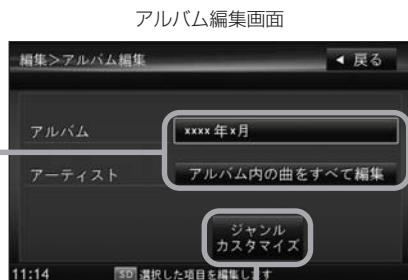
＊：トラックの編集(トラック表示 ボタンにつきまして)は「 トラックリストの編集(曲管理) 」216～219ページを参照してください。

■ アルバム編集 ボタンをタッチした場合

：アルバム編集画面が表示されます。

アルバム編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルの変更をすることができます。

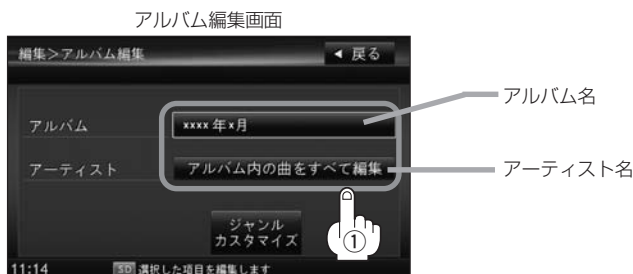
アルバム編集画面

タイトル名の編集をする場合は
☞213、214ページ参照

お好きなジャンルに変更する場合は
☞215ページ参照

□ タイトルの編集をするときは… ※アルバム名／アーティスト名を編集することができます。

①編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

アルバム編集画面

アドバイス

- アーティスト名は、誤った名前を表示したり名前が表示されなかった場合に編集（入力）します。
- アーティスト名を入力しても編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面（☞216ページ）から確認することができます。
  ※再生画面（エフエムストッカーモード TOP画面の詳細表示）からアーティスト名の確認ができます。

②入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

ひらがなとカタカナを入力する場合

例「わワ」と入力する場合

⬅ ➡ ボタンをタッチしてカーソルの位置を変えることができます。

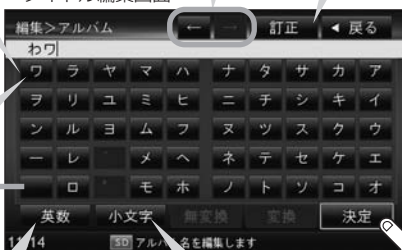
入力した文字を訂正する場合

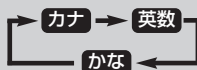
① 訂正 ボタンをタッチする。
：1文字消去します。
※全ての文字を訂正する場合は、訂正 ボタンを1.5秒以上タッチします。
②正しい文字を入力する。

1 わ ボタンをタッチする。
：画面上部に、「わ」があらわれます。

3 ワ ボタンを選び、タッチする。(画面上部に、「ワ」があらわれる。)

タイトル編集画面

1文字分のスペースを空けます。

50音パレット

2 カナ ボタンをタッチする。
：50音パレットがカタカナに変わります。
※タッチするたびに

と切り替わります。用途に合わせて切り替えてください。

小文字に変換したい場合

小文字 ボタンをタッチする。
：50音パレットが選択可能な文字のみ小文字に変わります。
※タッチするたびに 小文字 ⇔ 大文字 と切り替わります。
用途にあわせて切り替えてください。

漢字を入力する場合

例「桜」を入力する場合

漢字に変換するひらがなの範囲を変えたい場合に ⬅ ➡ を選択します。

2 変換 ボタンをタッチする。
：さくらに該当するリストが表示されます。

3 桜 ボタンをタッチする。
：画面上部に「桜」と表示されます。
※リストをタッチする前に 閉じる ボタンをタッチすると何も選択しないままリストを閉じます。

1 さ く ら ボタンをタッチする。
：画面上部に「さくら」と表示されます。

●次ページがある場合 ▲／▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

※ 無変換 ボタンをタッチすると入力したひらがなを漢字に変換せず、確定します。

※ 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

③入力が終わったら…
画面の 決定 ボタンをタッチする。

：変更が保存され、アルバム編集画面に戻ります。

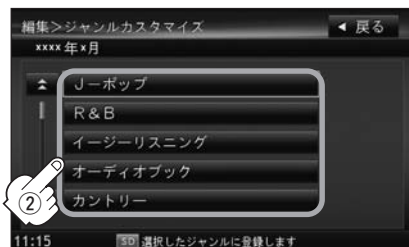
□ ジャンルを変更するときは… ※BeatJamによってふり分けられたジャンルを変えたい場合や手動でジャンルを変えたい場合に使用します。

①**ジャンルカスタマイズ**ボタンをタッチする。

アルバム編集画面

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

②お好きなジャンルボタンをタッチする。

ジャンルカスタマイズ画面

：選択中アルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

※：ジャンルの種類につきましては129ページアドバイスを参照ください。

■ 削除ボタンをタッチした場合 ※アルバムを削除することができます。

：選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい**をタッチしてください。

⚠注意
- **削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のキースイッチの変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。

※アルバムを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。

アドバイス
- 次ページがある場合▲／▼ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- **戻る**ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

トラックリストの編集(曲管理)

アーティスト名／トラック名の変更や、お気に入り登録、トラックの削除、ジャンルの変更などをすることができます。

1 212ページ手順 1 、2 にしたがって操作し、手順 3 のとき編集したいアルバムを選択し、 トラック表示 ボタンをタッチする。

：曲管理のトラック表示画面が表示されます。

曲管理画面

2 編集したいトラックを選択し、操作したいボタン(トラック編集 ／ お気に入り登録 ／ 削除)をタッチする。

トラック表示画面

■ トラック編集 ボタンをタッチした場合

：トラック編集画面が表示されます。

トラック編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルの変更をすることができます。

トラック編集画面

タイトル名の編集をする場合は217ページ参照

お好きなジャンルに変更する場合は217ページ参照

□ タイトルの編集をするときは…

※アルバム名／アーティスト名／トラック名を編集することができます。

①編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面

アドバイス

アーティスト名は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。(再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。

②入力する。

※入力のしかたは214ページを参考にしてください。

□ ジャンルを変更するときは…

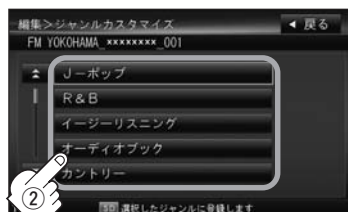
※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① ジャンルカスタマイズ ボタンをタッチする。

トラック編集画面

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

②お好きなジャンルボタンをタッチする。

ジャンルカスタマイズ画面

：選択中トラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

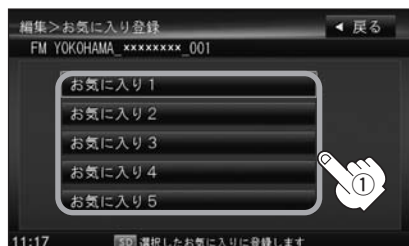
※：ジャンルの種類につきましては129ページアドバイスを参照ください。

■ お気に入り登録 ボタンをタッチした場合

：お気に入り登録画面が表示されます。

※トラック表示画面（☞216ページ）より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

①登録したい場所（お気に入り1～5）をタッチする。

お気に入り登録画面

：選択したお気に入りにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。

アドバイス

- 1つのお気に入りフォルダに登録できる数は200トラックです。合計1000曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したトラックを削除することができます。
  ☞「お気に入りを管理する」220、221ページ

お気に入りフォルダ（お気に入りリスト）の構成

■ 削除 ボタンをタッチした場合　※トラックを削除することができます。

：選択したトラック(曲)を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい ボタンをタッチしてください。

⚠注意
●削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のキースイッチの変更をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。

アドバイス

- 次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 画面の 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

お気に入りを管理する

お気に入りフォルダ(お気に入り1〜5)の名前の変更やお気に入りフォルダ内のトラック削除をすることができます。

1 画面の 編集 ボタンをタッチする。

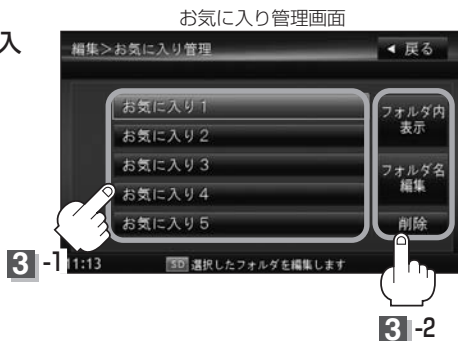
：画面右側に編集メニューが表示されます。

2 編集メニューの お気に入り管理 ボタンをタッチする。

：お気に入り管理画面が表示されます。

3 編集したいお気に入りフォルダ(お気に入り1〜5)を選択し、操作したいボタン(フォルダ内表示 ／ フォルダ名編集 ／ 削除)をタッチします。

お気に入り管理画面

編集>お気に入り管理　戻る
お気に入り1
お気に入り2
お気に入り3
お気に入り4
お気に入り5
フォルダ内表示
フォルダ名編集
削除
11:13　選択したフォルダを編集します
3-1
3-2

アドバイス

お気に入りリストは5つのお気に入りトラックフォルダがあり、1フォルダに最大200曲の登録が可能です。
218ページ参照

■ フォルダ内表示 ボタンをタッチした場合

※選択したお気に入りフォルダ内の確認とトラックの削除をすることができます。

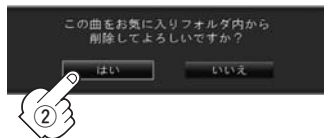
(選択したトラックの削除)

：フォルダ内表示画面が表示されます。

①削除するには削除したいトラックを選択し、削除 ボタンをタッチする。

フォルダ内表示画面

手順 3 で選択したフォルダ内の情報(内容)を表示

②削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい ボタンをタッチする。

：選択したトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。

■ フォルダ名編集 ボタンをタッチした場合

※タイトル(お気に入り1～5の名前)を変更することができます。

：タイトル編集画面が表示されます。

①画面の50音パレットを使って入力し、決定 ボタンをタッチする。

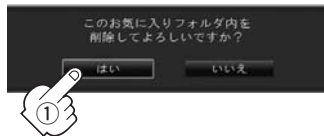
※入力のしかたは214ページを参考にしてください。

■ 削除 ボタンをタッチした場合

※選択したお気に入りフォルダ1～5内の曲を一括で削除することができます。

(1フォルダ(最大200トラック)ごとの削除)

①削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので"はい"をタッチする。

：選択したお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。

アドバイス

- 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のキースイッチの変更)をしないでください。故障の原因となります。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 パネルの⏮／⏭／⏮ ⏭ボタン(トラック)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

■ 前のトラックに戻る場合

⏮ボタンを2回押す。
※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭ボタンを押す。

画面をタッチしてリストより選択することもできます。

☞「リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる」224、225ページ

早戻し／早送りをする

1 パネルの［⏮／⏭］／［⏮］［⏭］ボタン(トラック)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

⏮ボタンを押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ボタンを押し続ける。

再生状態表示
▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し

(例)

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。ボタンを押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる

選曲モード(226ページ)で選択したボタン(全曲/フォルダ)のトラックまたはフォルダをリストより選択再生させることができます。

1 画面の トラック ボタンまたは フォルダ ボタンをタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

詳細表示時(例)

■

：トラックリストが表示されます。

アドバイス

選曲モード(226ページ)で選択したボタン(全曲/フォルダ)のトラックリスト表示となります。

■

：フォルダリストが表示されます。

アドバイス

選曲モード(226ページ)でフォルダを選択した場合は、選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

アドバイス

TOP画面は選択するボタン（詳細／トラック／フォルダ）によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。

TOP画面（例）

詳細情報表示

トラック ボタンタッチ →

← 詳細 ボタンタッチ

TOP画面（例）

トラックリスト表示

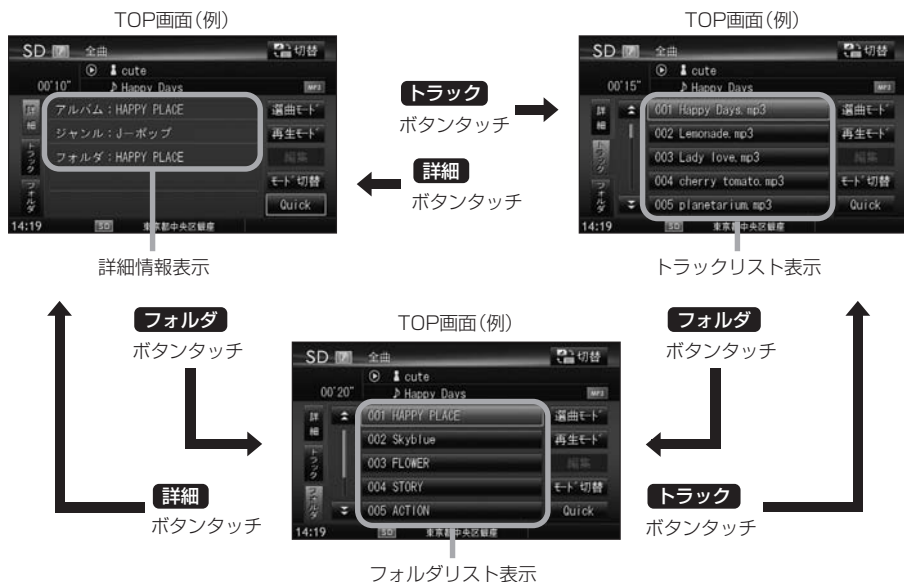
フォルダ ボタンタッチ

詳細 ボタンタッチ

TOP画面（例）

フォルダリスト表示

フォルダ ボタンタッチ

トラック ボタンタッチ

2 **再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。**

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面（トラックリスト表示時（例））

▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

アドバイス

TOP画面を詳細表示に戻したい場合は 詳細 ボタンをタッチしてください。（上記アドバイス参照）

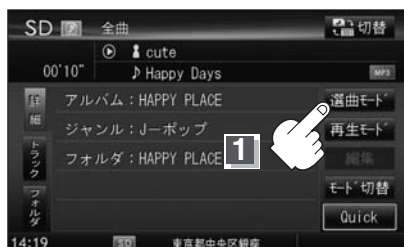
音楽ファイルモードを使う(3)

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

選曲モードより選択し再生させる

1 画面の 選曲モード ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

TOP画面(詳細表示時(例))

2 選曲モードより選曲する方法
(全曲 ／ フォルダ ボタン)を選択します。

選曲モード画面

選曲モード

アドバイス

- SDカードに収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲モードを選択する前に 閉じる ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲 ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト

：選択した曲を再生します。

次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

■ フォルダ ボタンをタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

①再生させたいフォルダをタッチする。

フォルダリスト

：選択したフォルダに収録されている
トラックリストの表示とともに曲が
再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト

：選択した曲を再生します。

アドバイス

次ページがある場合 ▲ ／ ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

3 設定を終わるには…

画面の 戻る ボタンまたは 閉じる ボタンをタッチする。

： 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 閉じる ボタンをタッチすると
TOP画面に戻ります。

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の 再生モード ボタンをタッチする。

:画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

SDモード TOP画面(例)

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

2 再生したいモード(リピート / ランダム / スキャン)を選択します。

再生モード選択画面

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート ボタンをタッチする。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示

:表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

● リピート ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示

：表示灯点灯し、リスト内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面

選択時点灯

選択中の再生モードの状態を表示

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

3 設定を終わるには…　画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。

アドバイス

- マーク表示が消えるまでそれぞれのモード再生を繰り返します。
- 選曲モード(☞226ページ)でフォルダを選択している場合は、選択しているフォルダのランダム／スキャン再生となります。